

日本語を生かした将来キャリアの希望

名前：Gienan Alifia Risti

学生番号：2509689

大学名：Unniversitas Pendidikan Indonesia

私は漫画家やアニメーターになる夢があります。子供の頃から絵を描くことが好きだったため、専門高校のアニメーション科に入学しました。高校では、アニメーション制作の楽しさを知りました。アニメーションを作る時、自分が描いた絵が少しずつ動き、一つの物語になっていく瞬間が大好きです。その時、私はアニメーターとしてキャリアを築きたいと思っていました。

高校卒業後、夢を叶えるために、二つの芸術大学を受験しました。しかし、どちらにも合格できませんでした。結果を見た時、どちらにも合格できなかったことにとっても悲しくて、がっかりしました。その後、私は大学に進学できないかもしれないと思いました。

しかし、私は高校の日本語部活で日本語を学んだことを思い出しました。そして、日本語の大会で得た成績もあります。その時、日本語の力があれば、将来、日本と関わるアニメーターの仕事に挑戦できる可能性があると感じました。また、日本には、世界中で愛される作品を生み出し続けているアニメーション制作会社が数多

くあります。その後、私はその大会の成績を生かして、日本語教育学科に入学することができました。

大学に入って、学べば学ぶほど、私は将来日本でアニメーターとしてキャリアを築きたいと決めました。しかし、授業や課題、漢字や文法の勉強に追われ、絵を描く時間が少しずつ減っていきました。その時、私は、忙しい毎日に慣れ、いつの間に絵を描く能力を失ってしまうことが怖かったです。

そのことに気づいた後、時間管理をよりうまく行おうと努めました。そうすれば、どんなに忙しくても、アニメーションを学び続け、毎週少なくとも一枚は絵を描き、少しずつ増やしていきます。

私は確かに二つの芸術大学に合格できませんでした。しかし、なくなったのは、最初に考えていた道だけです。夢までなくなったわけではありません。私は、誰にでもそれぞれのタイミングがあると信じています。早くたどり着く人もいれば、遠回りする人もいます。最も大切なのは、今いる場所から、小さな一歩を踏み出すことです。

私にとって、日本語を学ぶことは、夢から離れることではありません。別の方向から、同じ夢に近づくことなのです。確かに日本語は、特に漢字や文法はとても難しいですが、キャリアを築くために、これからも日本語の勉強を一生懸命頑張ります。日本語の能力を生かして、絵を描き続け、日本のアニメーション会社でアニメーターとして働きたいです。